

公開講座

「小説『劔岳・点の記』をもう一度」

小説『劔岳＜点の記＞』を楽しく読むために

『劔岳＜点の記＞』（新田次郎作）は、明治末期に参謀本部陸地測量部の若き測量手柴崎芳太郎らの測量隊が、五万分一地形図の空白地帯で、当時前人未踏の信仰対象の山であった北アルプス劔岳への山岳測量プロジェクトを題材にした山岳小説である。これ以降、新田次郎は山岳小説を書いていない。新田山岳文学の集大成にあたる作品でもある。

地図の空白地帯を埋めるために、その基本となる三等三角点網を完成すべく信念と勇気を持ち、様々な艱難辛苦と戦いながら困難な山岳測量に取り組んだ柴崎測量隊の姿が描かれている。平成21(2009)年には映画化され、測量界では過熱化した時期もあったが、それ以降は話題に上ることも少なくなった。上映時間の限られた映画では、この小説の全貌を知ることはできない。

小説『劔岳＜点の記＞』は事実に基づいた作家の創作であり、フィクションではあるが、その中には、過去の三角測量の原風景や明治という時代に生きた測量人の信念が生き生きと描かれ、時空を超えて私たちに感動を与えてくれる。

明治150年という記念の年を迎え、新田次郎最後の山岳文学を今再び鑑賞したい。

■ 日時 平成30年1月19日(金) 16:00～17:30 16時より

※講演は、16:00～17:00

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)

■ 講師 瀬戸島政博 氏

公益社団法人 日本測量協会 専務理事

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員40名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 1月5日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-1c@jsurvey.jp

Tel: 03-5684-3357 (担当:小林 俊雄)